



Booking.com

2026年の「旅行トレンド予測」

“The Era of YOU - 自分らしさ”

を表現する旅へ

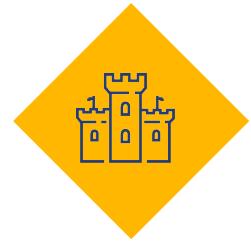
今年で10周年を迎える 「旅行トレンド予測」

今年で10周年を迎えるブッキング・ドットコムの「旅行トレンド予測」は、人々がこれから世界をどのように体験したいと考えているのかに焦点を当てています。これまでの調査では、猛暑を避けて涼しい場所を求める「クールケーション(Cool-cation)」のような傾向から、社会的・環境的意識をもとに旅先を選ぶ「コンシャス・トラベラー(Conscious Traveler)」まで、旅行スタイルの変化が明らかになってきました。

そして、2026年に向けた最新の調査では、旅行者たちが「ありのままの自分」を存分に表現したいという思いを強くしていることが示されています。

旅行はこれまで常に個人的な体験でしたが、2026年の旅は「画一的な旅」とは全く異なるものになるでしょう。仲間とスリルを共有しながら絆を確かめたり、神秘的な場所へ気まぐれに立ち寄ったり、未来的なデザインのバケーションレンタルに滞在したり——。2026年の旅は、「The Era of YOU - 自分らしさ」を体現する大胆な自己表現の舞台となるのです。

ブッキング・ドットコムの調査によると、2026年の旅行者は“型にはまらない”旅を求め、自分だけの情熱や個性をより強く反映させた体験を選ぶようになることがわかりました。



空想物語への没入ファンタジー旅



ロボットとの次世代ステイ



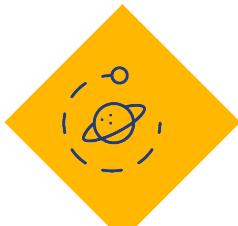
‘絆の真価’を確かめる旅



キッチン棚に旅の物語を集める旅



旅の道中が目的になる発見旅



星が導く、必然の旅先



美肌&ウェルネス・ビューティー テック旅



自然の静寂に抱かれ、趣味に没頭する旅



記憶と再開する追憶の旅



‘私’のささやかな節目を祝う旅



29,000人以上
の回答者



33

の国と地域



※括弧内は日本の旅行者の数字



空想物語への 没入ファンタジー旅 (Romantasy Retreats)

何世紀にもわたり、旅行者にとって「本」を旅の心強い相棒であり続けてきました。2026年には、「ロマンタジー(ロマンス×ファンタジー)」ジャンルが人気を集めると、物語と旅の関係は新たな章を迎えていきます。

旅行者は小説を読むだけでなく、ドラゴンや妖精、神話の生き物たちが息づく幻想の世界へと実際に足を踏み入れようとしているのです。

71%
(56%)



の世界の旅行者は、ロマンタジーの世界から着想を得た目的地への旅行に興味を持っている と回答

53%
(34%)



の世界の旅行者が、お気に入りのファンタジー作品やゲーム、映画の世界を題材にした“ロールプレイ・リトリート(没入型の体験滞在)”への参加に前向きで、そのうち23%(日本: 10%)は「今後の旅行計画にぜひ取り入れたい」と強い関心を示している

78%
(64%)



の世界の旅行者が、AIを活用してファンタジー風の美しい場所を提案してもらったり、「物語に登場しそうな」隠れ家のようないすを紹介してもらったりするなど、「AIによる旅の提案」を受け入れることに前向きであると回答



※括弧内は日本の旅行者の数字

ロボットとの 次世代ステイ (Humanoid Homes)

チェックインすると、掃除はお掃除ロボットにおまかせ。夕食はロボットシェフが用意し、食後の片付けまでこなしてくれる。さらに、スマートシステムが水回りやエネルギー、ごみの管理を静かに最適化してくれる。2026年、バケーションレンタルはヒューマノイドによってさらに未来的に進化していきます。

77%
(70%)

の世界の旅行者が、お手伝いロボット機能を備えたバケーションレンタルを予約してみたいと回答

ヒューマノイドのバケーションレンタルの魅力：

28%
(20%)

の世界の旅行者が、目新しさを感じるからと回答

19%
(13%)

の世界の旅行者は、自慢できるからと回答

旅行者は、快適さと好奇心が融合した次世代の体験を受け入れる準備ができます。一方で、実用的なメリットが、ロボットを活用したバケーションレンタルの予約を促す際の大きな魅力となります。



49%
(47%)

の世界の旅行者が、
お掃除ロボット の有無が予約の決め手
になると回答



39%
(37%)

が、最も期待するの
はロボットシェフ と
回答



25%
(12%)

が、裏方でサステナビリティを管理するロボットを望んでいると回答



‘絆の真価’を確かめる旅 (Turbulence Test)

休暇は単なるリフレッシュのためだけではありません。2026年には、多くの旅行者が休暇を、恋人や友人、仕事仲間との絆を試す“究極の相性テスト”にすることが増えるでしょう。

69%
(44%)

の世界の旅行者が、**将来のパートナーや同僚、新しい友人との旅に前向きで**、その目的は「相性を確かめたいから」と回答

62%
(41%)

の世界の旅行者が、同行者が**予測不能な状況 や不快な場面**でどう対処するかを見るために、あえて**人里離れた場所**を訪れたいと回答

59%
(42%)

の世界の旅行者が、「普段リードする人が主導権を手放し、内向的な人が代わりに導く」ような**“役割逆転の旅”**を体験してみたいと回答

こうした困難の中でのテストは、休暇を単なる気分転換としてではなく、相性を深く理解する没入型の体験として捉える傾向の変化を示しています。

81%
(57%)

の世界の旅行者が、**実生活に近い状況を再現し、関係が発展するかどうか**を試すために設計されたカスタマイズ旅程に前向きであると回答

※括弧内は日本の旅行者の数字



キッチン棚に 旅の物語を集める旅 (Self-ie Souvenirs)

2026年、自宅のキッチンの棚が旅の続きの“異国情緒を映すキャンバス”へと姿を変えます。旅行者は、日常のキッチンを世界の文化を紹介する小さなギャラリーへと変えるために、食べられるおみやげやデザイン性の高いおみやげを探すようになっています。

68%
(58%)

の世界の旅行者が、旅先でデザイン性のある キッチン用品や食料品を購入したいと回答



55%
(44%)

の世界の旅行者が、食やキッチン用品が有名な目的地を訪れたい と回答



※括弧内は日本の旅行者の数字





旅の道中が 目的になる発見旅 (Roadtrip Reward)

昔ながらのロードトリップは 2026年に新たな進化を遂げます。今や旅は「運転すること」そのものではなく、仲間との冒険を通じて絆を深め、忘れられないひとときを過ごす場となっています。



84%
(72%)



の世界の旅行者が、休暇中の相乗りに前向きであると回答

54%
(28%)



の世界の旅行者が、同じルートを旅する仲間を探すためのアプリを活用してみたいと回答

79%
(65%)



の世界の旅行者が、気ままで柔軟なロードトリップに魅力を感じる と回答

77%
(56%)



の世界の旅行者が、次のロードトリップで新しい人と出会いたいと回答

星が導く、 必然の旅先 (Destined-ations)

2026年、旅の計画は星の動きや占いなどに影響されるようになります。月の満ち欠けや占星術といった神秘的な習慣が、旅行のタイミングや目的地の決定に影響を与え、休暇は精神的に調和し、宇宙に導かれていると感じる旅へと変わるでしょう。

47%
(32%)



の世界の旅行者が、スピリチュアルな助言者が「今は適した時期ではない」と言えば、**旅行計画の変更やキャンセルを検討する可能性がある** と回答

43%
(32%)



の世界の旅行者が、占いの警告をもとに**旅行を見直す可能性もある** と回答

39%
(27%)



の世界の旅行者が、もしも水星逆行中と知ったならば、**旅行を調整する** と回答

※括弧内は日本の旅行者の数字

※括弧内は日本の旅行者の数字

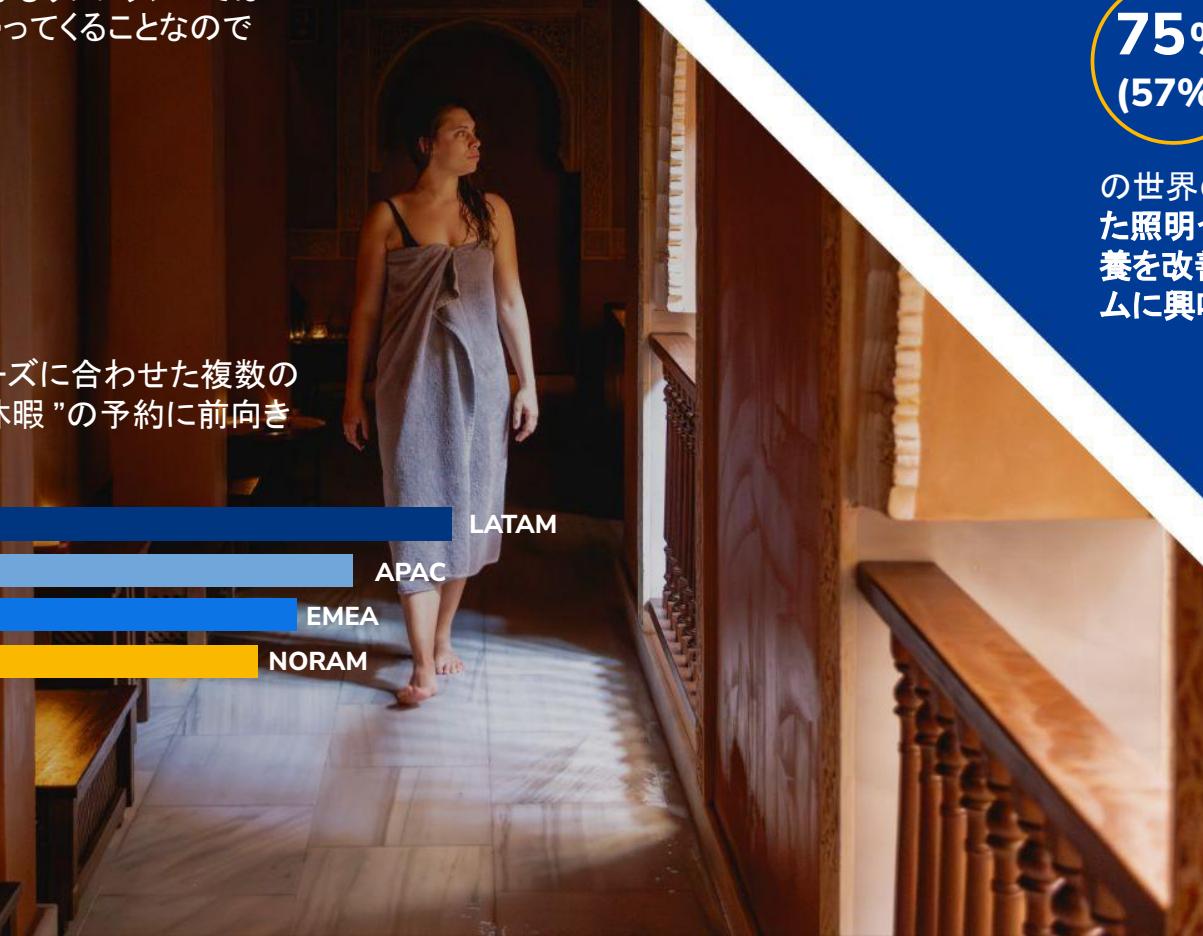
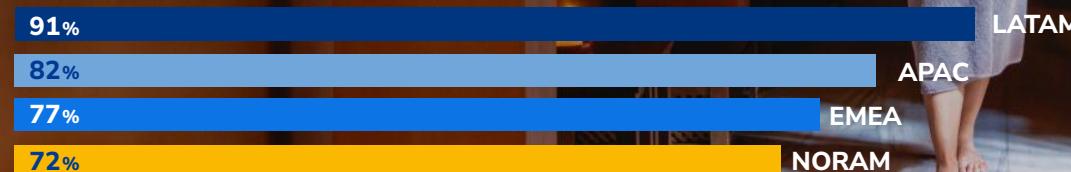


美肌＆ウェルネス・ ビューティーテック旅 (Glow-cations)

2026年は、ウェルネス旅行がかつてない盛り上がりを見せるでしょう。体を温める昔ながらの温泉療法から、DNAやマイクロバイオームを解析する最先端の検査まで、美肌休暇はスキンケアに特化したウェルネス旅行の新時代を切り開いています。その目的は単なるリフレッシュではなく、見違えるほど生まれ変わって帰ってくることなのです。



の世界の旅行者が、自身の肌のニーズに合わせた複数の施術を受けられる“美肌に特化した休暇”的予約に前向きであると回答



の世界の旅行者が、気候やアクティビティに合わせてカスタマイズされる保湿ステーションに関心があると回答



の世界の旅行者が、毛穴や保湿状態を分析しリアルタイムでスキンケアアドバイスしてくれる、カメラやセンサー機能を持つスマートミラーに興味があると回答



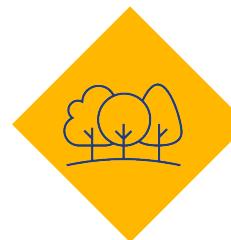
の世界の旅行者が、概日リズムに合わせた照明やサウンドスケープを取り入れて休養を改善する機能強化型のスイートルームに興味があると回答



の世界の旅行者が、自分の肌のニーズに合った目的地を見つけるために、AIの活用を検討すると回答



※括弧内は日本の旅行者の数字



自然の静寂に抱かれ、 趣味に没頭する旅 (Hushed Hobbies)

2026年、旅行者にとって静けさは新たな価値を帯びています。日常の喧騒や刺激過多な社会から距離を置き、心の平穏を取り戻すために、旅行者は自然の中の静寂を求め始めています。

43%
(47%)



の世界の旅行者が、自然をより身近に感じることに集中する休暇を取りたいと回答

25%
(40%)



の世界の旅行者が、休暇中は「静かな」趣味に没頭することを希望しており、忍耐、黙想、ストレス解消から得る心身を回復させる旅を求めていると回答

旅先で自然との一体感を深めるアクティビティに関心を示す旅行者も増加しています。世界では過半数の旅行者(世界: 57%、日本: 29%)がガヤやチョウなど昆虫の観察に興味を持ち、73%(日本: 55%)が釣りやバードウォッチングを検討、69%(日本: 69%)が地元の自然や原野で自ら食材を採集することのできる体験型ホテル滞在を希望しています。

選ぶ可能性が高い旅先

中国 86% | ベトナム 85% | タイ 84%

選ぶ可能性が低い旅先

日本 29% | スウェーデン 39% | オーストリア 41%

※括弧内は日本の旅行者の数字



記憶と再開する 追憶の旅 (PastPorts)

2026年、懐かしい思い出は過去に置いてきたものではなくなるでしょう。世界の旅行者の 66%(日本: 47%)が、テクノロジーを使って思い出や写真を再現し、撮影された場所を正確に特定し、その場所を訪れる検討すると回答しています。

多くの人にとってこれは感情を深く揺さぶられる旅であり、大切な瞬間を思い出して他者と共有したいという思いに根ざしているのです。



49%
(41%)



は、家族や親しい友人との思い出をよみがえらせたいから、と回答



46%
(40%)



は、若いころの自分を思い出したり、つながりや帰ってきた感覚を味わったりしたいから、と回答



36%
(30%)



の旅行者は、こうした旅を 人生の節目 と捉えているから、と回答



※括弧内は日本の旅行者の数字

‘私’のささやかな節目を祝う旅 (Modern Milestone Missions)

2026年に、旅行者はいつ、どうして旅行するのかというルールブックを書き換えようとしています。結婚式、ハネムーン、記念日や出産といった従来の節目に限らず、現代の“お祝い”はより個人的で多様な形へと移行し、進化しています。

旅を予約することに至る新しい理由が浮かびあがりました：

24%
(13%)

就職や昇進祝い

22%
(10%)

断酒の成功やフィットネスの成果などを祝うため

16%
(15%)

思いがけない税金の還付

14%
(11%)

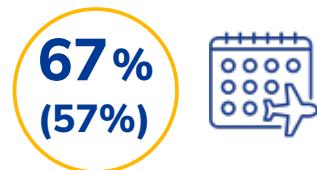
別れに区切りをつけるため

9%
(3%)

新しい服をお披露目するため



“モダン・マイルストーン・ミッション”の波は、旅行者が自分なりの方法で達成を受け入れ、自分自身を祝福する手段として旅を選んでいることを示しています。



の世界の旅行者が、旅行をするのに特別な理由はいらないと回答



の世界の旅行者が、「頑張った自分へのごほうび」として旅行を予約していると回答





ジェームズ・ウォーターズ (James Waters)

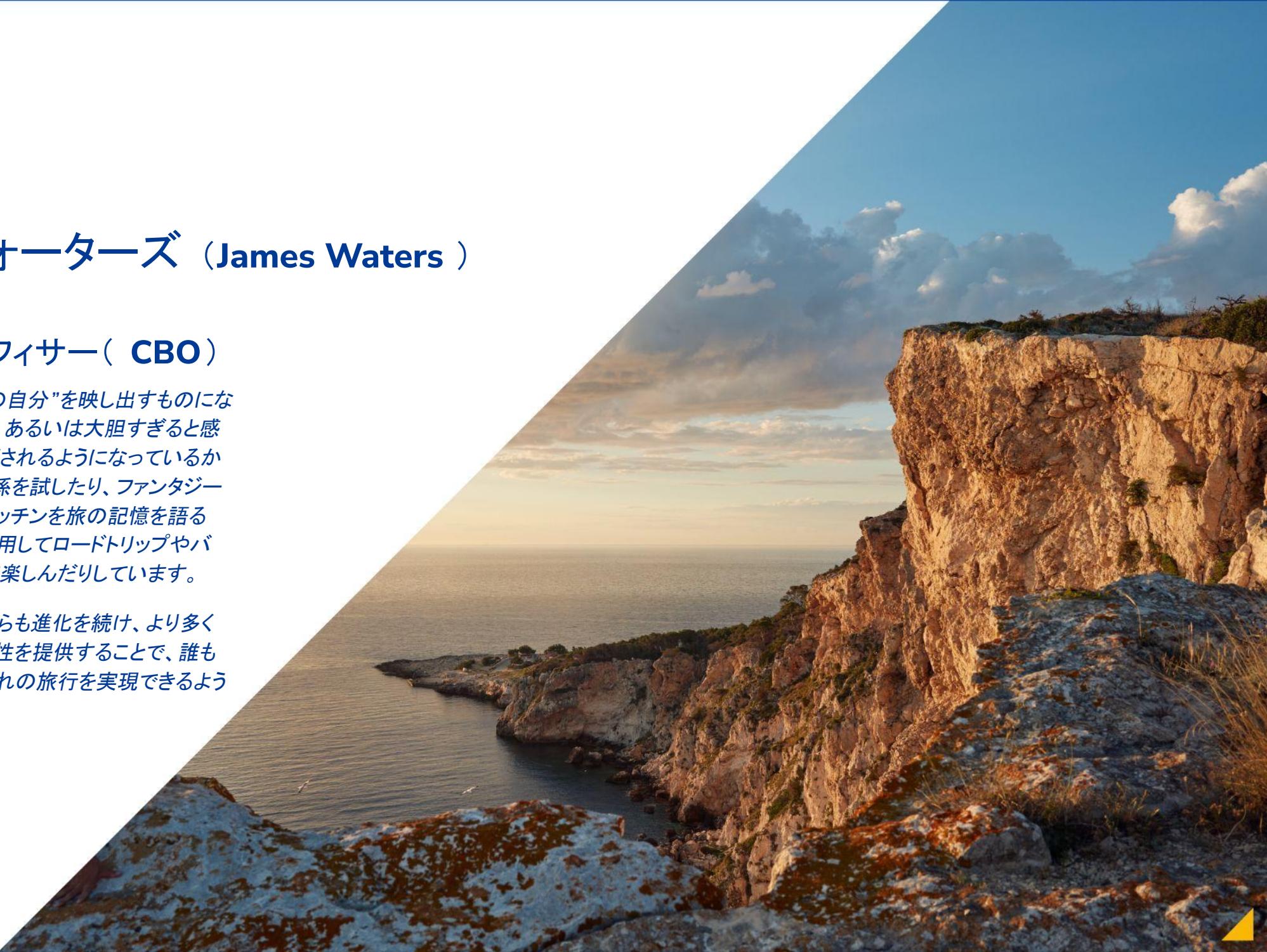
Booking.com

チーフ・ビジネス・オフィサー(CBO)

2026年の旅は、人々の“本当の自分”を映し出すものになるでしょう。従来はニッチすぎる、あるいは大胆すぎると感じていた関心を中心に旅が計画されるようになっているからです。旅行者は、旅で人間関係を試したり、ファンタジーの世界に足を踏み入れたり、キッチンを旅の記憶を語る場に変えたり、テクノロジーを活用してロードトリップやバケーションレンタルを新たな形で楽しんだりしています。

ブッキング・ドットコムは、これからも進化を続け、より多くの選択肢と柔軟性、そして利便性を提供することで、誰もが世界をより身近に体験して憧れの旅行を実現できるよう全力を尽くしてまいります。

”





2026年 おすすめの旅行先

ブッキング・ドットコムはデータインサイトを活用し、2026年に必訪のバケーションスポットとなるトレンド先を明らかにしました。これらの目的地は、旅行者の心をときめかせる体験を提供する場所で、魅力的な海沿いの街に生まれ変わった漁村だった場所や、都市の活気を楽しめる再開発された工業地帯なども含まれています。

調査方法

2026年の「旅行トレンド予測」に関する調査は、ブッキング・ドットコムによって、今後12～24ヶ月間以内に出張またはレジャー・観光目的で旅行に出かける予定のある成人を対象に行われたものです。33の国・地域の計29,733名の回答者（内訳：アルゼンチン1,009名、オーストラリア1,005名、オーストリア500名、ベルギー1,013名、ブラジル1,008名、カナダ1,018名、中国1,009名、コロンビア1,005名、クロアチア508名、デンマーク501名、フランス1,010名、ドイツ1,003名、香港1,004名、インド1,007名、アイルランド509名、イスラエル507名、イタリア1,005名、日本1,003名、メキシコ1,003名、オランダ1,019名、ニュージーランド1,033名、ポルトガル1,006名、シンガポール500名、韓国1,003名、スペイン1,009名、スウェーデン511名、スイス501名、台湾504名、タイ1,001名、アラブ首長国連邦501名、イギリス2,003名、アメリカ2,010名、ベトナム505名）が対象となりました。調査は、オンラインアンケートで2025年7月～8月に実施しました。

調査対象の目的地は、2025年1月1日～8月31日の期間にブッキング・ドットコムで予約件数上位1,000の都市・地域に限定され、そこから前年比の増加率順に並べ替えたリストが作成されました。

